



政治のホンマを伝えるチラシ

月刊レオナンドス通信

www.nakanishireo.com/ 平成22年8月号 発行:中西レオ応援団

明石レッドソルジャーズ

関西独立リーグで播磨チームが計画されている際に、明石市が破格の支援を約束して明石市を本拠地とするチームに。ところが初年度にリーグ運営会社が撤退。各チームは当初から経営難に陥る。明石市は提示していた支援を見直す。

現在リーグはNPO法人の運営となり、チームはその支部。選手は無給（当初は月額20万円）となっている。

JR新駅問題

平成18年にJRから明石～西明石間に新駅建設の打診。広報あかしに突然の「新駅建設へ」という記事が載り、市民の多くが反発。選挙の争点の一つにもなる。反対や△の候補が多数を占める。

計画が中止になったと思っている市民も多いが、何も進んでいないだけ。周辺地域や商業への影響が調査されているが、決を採るに至らず。行政側は建設に強い意欲。更には大久保～魚住間も調査対象に挙がる。

市長退職金問題

選挙前に「退職金は受け取らない」と発言した北口市長が選挙後に受け取りたいと発言。議会は満額支給、減額、ゼロの中から減額を選択。中西レオはゼロを支持したが、敗れたため減額に賛成。

減額で約2400万円から約500万円になったのは市長1期目の退職金についてだけ。今は2期目の最終年度なので、退職金問題の再燃は必至。

“まだ続いていく”
“あの問題”



スッキリ解決しない理由

そもそも市長が提唱している野球によるまちづくりも、播磨チームを明石チームにしたことも間違い。明石は野球でまち興しをするような地域ではなく、甘い見込みで議会を無視して誘致した市長の責任は重い。なによりも選手が気の毒である。

明石市が今後目指す方向性が明確でないことが長引かせる原因。中西レオは自然を切り開いて新たに開発するよりも、今のストックを活かすことを重視して活力ある市域を創ることを目指します。

市長発言の責任についても問われたのが前回だが、そもそも4年で約2400万円の退職金が妥当なのかを市民の意見を集めた上で議会で決める必要があります。近隣市がどうこうは関係ないこと。中西レオは「月給×在職年数」の約500万円が妥当であり、永続的な制度にする必要があると考えています。



月イチ！報告会

8月31日(火) 18:00～20:00

今回のテーマは『どんな明石にしたい？』

場所：明石生涯学習センター（アスパア7F）